

みんなが主役の晴れ舞台
学芸会・学習発表会

みんなが主役の晴れ舞台



北門小学校・保育所 (11/17)

▲劇「ゴミランド」(全校児童)



上士幌小学校 (11/17)

▲劇「オズの魔法使い」(4年生)



萩ヶ岡小学校・保育所 (11/17)

▲合唱・楽器(全校児童)



糠平小学校・保育所 (11/10)

▲遊戯「ゲゲゲの鬼太郎」(保育所)

10の2区の齋藤松雄さんは、高齢者叙勲として旭日単光章を授与され、10月26日(金)に十勝総合振興局の松橋明生副局長より伝達を受けました。

齋藤松雄さんに叙勲伝達

10月26日



「第1回上士幌つくたべ教室」がふれあいプラザで開催されました。教室には町民約20名が参加し、チーズ工房「シロベル」の高木頼子さんが作るチーズなど、複数の地元食材を用いてピザやコロッケを作りました。参加者からは「しつかりしたチーズですね。」など食材の良さを指摘する声が聞かれ、教室を主催したNPO上士幌コンシェルジュ事務局の川村昌代さんは「地元の食材でこれだけ美味しい物ができると知ってもらい、ご家庭でも食べて頂ければ。」と話されていました。

地元食材で料理教室

10月23日

10月30日(火)、北居辺小学校で「みんなの出店まつり」が開催されました。3・4年生の「おはじきゲーム」など、児童・PTAによるユニークな出店が登場し、学校を訪れた地域のみなさんを楽しませていました。

10・11月の
まちのわだい



「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
 企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

齋藤さんは、平成4年から4期12年にわたり上士幌町選挙管理委員会委員長を務められ、選挙執行の適正管理及び選挙啓発に尽力されました。



10月31日

博物館が42年の歴史に幕



ひがし大雪博物館が10月31日(水)、現行施設での営業を終了しました。

最終日となるこの日は、閉館を惜しむ方々が町内外から多数訪れ、帯広からカメラ片手に足を運んだ女性も。「この施設で全ての展示品が見られるのは最後なので来ました。世界の昆虫の展示はやっぱりすごいです。」と話されています。

ひがし大雪博物館は場所を移転し、平

成25年の春より環境省ビジターセンターと共に新しい施設として生まれ変わります。

高橋尋子さんに感謝状



多年にわたり、経済産業省所管の統計調査に従事された16区の高橋尋子さんに経済産業省より感謝状が授与され、竹中町長より伝達されました。

高橋さんは経済産業省所管以外の統計調査にも従事されており、国や北海道、町の統計事業に貢献いただいています。

11月2日

ゲートキーパー研修に80人



「自殺予防ゲートキーパー研修 in 上士幌」がふれあいプラザで開催され、町内外から約80人が参加しました。

「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気づき、耳を傾け、

11月7日

見守る人のことで、研修で講義した道立精神保健福祉センターの池本真美氏は、「高度なことは必要ないので、みなさんのできる範囲で、悩みを抱える人のサインに気づいてあげてください。」と話しました。

この日は講義に続いて、「相談の受け止め方」を参加者同士で演習し、自殺予防への理解を深めました。

※町保健福祉課では、悩みを持つ人やその家族から相談を受ける「心の相談日」を開設しました。詳しくはふれあいプラザ(☎214128)までお問い合わせください。

11月10日

第29回上士幌町東京会の集い



本町にゆかりのある方などで作る上士幌町東京会の「第29回上士幌町東京会の集い」が、ニューオータニイン東京で開催されました。

町からは、竹中町長、杉山議長、根本農協代表監事、山田商工会長が出席し、会員34人と意見交換したほか、上士幌町特産品が当たる抽選会などで盛り上がりしました。

会員からは「来年は30周年の節目の年になるので、これまで以上に会を盛り上げたい。」とのお言葉をいただきました。

11月11日

50の芸能発表に歓声と拍手



町民文化祭の芸能部門が、山村開発センターで開催されました。

今年は50演目の発表があり、民謡、カラオケ、舞踏など日頃の練習成果が発揮され、圧倒的な表現力で観覧のお客さんを沸かせていました。

地域を変えてく新しいカ

地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 2013年=2013m



記: 図書館活動推進員 時田 恵里子

今年もあと僅かになってきました。みなさんすでにご存知かと思いますが、間もなく迎える2013年は我が町を代表するニペソツ山の標高(2012.9m≒2013m)と重なります。

そのため図書館の今年夏の企画展では所蔵する山に関する本の特集を組みました。せつかく地の利のよい町に住んでいるのですから、ニペソツ登山挑戦と言わないまでも、みなさんに少しでも身近な自然や山への興味を持ってもらえたらと思った次第です。また夏には道内のみならず道外からも多くの登山者がニペソツ山や石狩岳・音更山などをめざして我が町を訪れ、中には図書館に立ち寄ってくださる方もいたので、そんな方たちのお役にたてればとも思いました。

来年の夏は標高年本番としてさらに来町者が増え、図書館利用者も増えることを期待しております。みなさんもぜひ、山の本を携え雄大な景色に身を置いてみてください。



▲夏に実施した企画展「近くて遠い…上士幌の山々」

上士幌グリーンボランティア会が厚生労働大臣表彰を受賞しました



上士幌グリーンボランティア会(那須襄太郎代表・会員23人)がこのほど、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

これまでの37年に渡る「在宅重度障がい者とその家族の支援」や「日赤赤十字の奉仕活動」が評価されたもので、道内からは上士幌と千歳のみが受賞する栄誉となりました。

受賞を受けて那須代表は「(会の)次世代の組織作りを考えるとともに、若い障がい者とどうやってコミュニケーションを取っていくか、これから議論してゆきたい。」と話されています。

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高

10月23日(火)と24日(水)、1年生による大学専門学校訪問が行われました。この行事は1年生の進路意識と団結力を高めることが狙いで、1日目に専門学校、2日目に大学へ行き模擬講義や体験実習を行いました。

後日、班に分かれて新聞を作成し、それぞれの成果を発表します。ちなみにこの新聞は来年の学校祭に展示しますので是非上高にお越しください。

訪問先の学校では映像やスライドショーで学科や設備を解説していただいたり、実習では私たちが理解しやすいように生徒の視点に立って教えてくれました。そのおかげもあって授業への取り組み方などを学ぶことができ、生徒たちはとても有意義な体験をすることが出来ました。

また、上士幌町のみなさんの支援のおかげでこの大学専門学校訪問に行くことができました。私たちはこの体験を通して今後の進路に役立てていきます。

みなさんにこの場を借りて感謝を申し上げます。ありがとうございました。



▲資料室を訪れた生徒の様子。思わず資料に目が行ってしまう。

10月23日(火)・24日(水)
進学への理解を深める

文責 廣瀬 貴弘

町民文芸

川柳

短歌

初めてのノルディックウォーキングをする廃線あとの樹間を行きて
 廃線となりて久しも士幌線かつて鉄路は山深く伸ぶ
 小春日に車押し行く図書館へ思はず転ぶ帰りがければ
 夜のチャイムに出で見れば図書館の方今日の転びを気づかいくれて
 玻璃いちめん雨滴拵り鉢たちの今日を静かにならびてゐたる
 何をもて慰めとせむこゝろいま鎮めば響く冬くる足音
 大掃除物が多くて片付かぬ
 そば打ちを習って食べるうまいそば
 響く音太鼓叩いて出す元氣
 クリスマス今年も過ぎす相手なく
 カボチャだんごおいしかったよ僕こねた
 親孝行母の分まで洗濯し
 寒くなり冬支度して外に出る
 ファイターズ日本一にはあと一歩
 野鳥にも降りかかるのか放射能
 紅葉と共に運命の風に舞う
 年金で食べて論じる天下国家

白坂桜 齊薮小 高米小 鈴米 本 高 石
 石田 藤根松 木森池 木森 間 木 川
 い花 敦 義 誠 真 由 博 栞 慶 裕
 さ子 絵 子 守 美 也 弓 希 子 豊 樹 風 子 子
 馨

平成24年10月末現在の人口

男 2,494人(先月比-1)
 女 2,594人(先月比-9)
 計 5,088人(先月比-10)
 世帯数 2,350世帯(先月比±0)

寄付

▶ 3の2区の川端英雄さんは、10月23日に町の振興資金として金100万円を寄付されました。

一ふるさと納税一

- ▶ 谷信一さん(平取町、金1万円)
- ▶ 木内崇さん(茨城県、金1万円)
- ▶ 井手みゆきさん(長崎県、金1万円)
- ▶ 細川雅弘さん(広島県、金1万円)
- ▶ 笹沼恒人さん(千葉県、金1万円)
- ▶ 石原幹大さん(愛知県、金1万円)
- ▶ 山本卓司さん(東京都、金1万円)
- ▶ 鈴木里香さん(東京都、金1万円)
- ▶ 佐藤真人さん(東京都、金1万円)
- ▶ 中村昌司さん(埼玉県、金1万円)
- ▶ 南春植さん(富山県、金1万円)
- ▶ 堀秀行さん(栃木県、金1万円)
- ▶ 太田智さん(東京都、金1万円)

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。



紙芸術の秋、町民部文化祭(芸能部門)取材しましたが、本番の日に向け、大変な練習をしてきたことが、発表者から伝わってきました。紙学生時代の部活動を思い出しながら、カメラのファインダーをのぞいていました。(あっという間に冬到来・・・A)

紙今月の表紙は、北海道ホテルの工藤一幸総料理長を招いての上士幌高校食育講習会。「フードデザイン」を選択している生徒が直接プロの技を学びました。紙中には調理師志望で、将来上士幌でフレンチレストランを開くのが夢という生徒もおり、その眼差しは真剣そのものでした。(食べに行きますので、ぜひ夢を実現してください・・・Y)

広報.....
がみしほろ 1月号は 12月25日(火)発行予定